

[速報版]

- 委員長（加藤こうじさん） ただいまから、東京外郭環状道路調査対策特別委員会を開きます。
- 委員長（加藤こうじさん） それでは、休憩を取りまして本日の流れを確認いたしたいと思います。
- 委員長（加藤こうじさん） 休憩いたします。
- 委員長（加藤こうじさん） 委員会を再開いたします。
- 委員長（加藤こうじさん） 本日の流れにつきましては、１、行政報告、２、議会閉会中継続審査申出について、３、次回委員会の日程について、４、その他ということで進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、そのように確認いたします。

- 委員長（加藤こうじさん） 市側が入室するまで休憩いたします。
- 委員長（加藤こうじさん） 委員会を再開いたします。
- 委員長（加藤こうじさん） 行政報告、本件を議題といたします。

本件に対する市側の説明を求めます。

- 都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起） おはようございます。お時間をいただき、ありがとうございます。

本日の報告事項としましては、１点になります。外環事業に係る取組状況についてです。よろしくお願いいたします。

- 外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） よろしく申し上げます。

それでは、次第１、外環事業に係る取組状況について御説明いたします。資料１を御覧ください。１、本線トンネル工事等の掘進状況について（令和８年６月上旬時点）について御説明いたします。

２ページを御覧ください。こちら、本線トンネル工事等の掘進状況について（全体概要）になります。図面の左側から東名ジャンクションＡランプシールドマシンは掘進中、Ｈランプシールドマシンは掘進を完了しております。また、東名ジャンクション地中拡幅工事については、地盤を防護するためのパイプルーフ、拡幅部の下側の掘削などを施工中です。その右、東名本線（北行）・（南行）シールドマシンは、令和２年１０月１８日の陥没の発生により掘進を停止しております。

続きまして、中央ジャンクションです。左側のＢランプシールドマシン、Ｆランプシールドマシンは、事業用地外を掘進中であり、Ｂランプは三鷹市域を、Ｆランプは調布市域を掘進中です。また、右側のＡ・Ｈランプシールドマシンは掘進を完了しております。

続きまして、大泉本線（北行・南行）についてです。オレンジ色の大泉本線（北行）シールドマシンは、約５.４キロメートルを掘進中、その右側の大泉本線（南行）シールドマシンは、約４.６キロメートルの位置においてカッター部を駆動する大ギヤ等の点検・補修のため一時停止しております。

図面の右側、大泉ジャンクションＦランプシールドマシンは、掘進を完了しております。

３ページを御覧ください。こちら、本線トンネル工事等の掘進状況について（詳細）（令和８年６月上旬時点）になります。こちらは、現在、掘進中、または掘進完了したシールドマシンについての現在位置等を記載しております。３ページには、東名側本線シールドマシン、大泉側本線シールドマシンを記載しております。

また、４ページには、中央ジャンクション北側Ａ・Ｈランプシールドマシン、南側のＢ・Ｆランプシ

[速報版]

ールドマシンを記載しております。

5 ページには、東名ジャンクションの A・H ランプシールドマシンについて記載しておりますので、御確認いただければと思います。

続きまして、6 ページを御覧ください。こちら、中央ジャンクション（仮称）地域において現在行われている工事の状況について（令和 8 年 6 月上旬時点）を御説明いたします。5 つの工事を記載しております。黄色の枠は、先ほど御説明した中央ジャンクション南側の B ランプシールドトンネル工事及び F ランプシールドトンネル工事になります。紫の枠は、東京外かく環状道路中央ジャンクション南工事になります。連結路や換気所地下部等の躯体築を行っております。

赤の枠は、東京外環道中央ジャンクション北側改良工事です。この工事は、地下水の流動の保全のための立て坑構築工事、横断管設置工事になります。現在は掘削工事を行っております。

青の枠は、R 7 東京外環道中央ジャンクション北側換気所改良工事です。この工事は、換気所構築に向けた地盤に固化剤を混ぜ合わす固結工、土留め工事である地中連続壁工になります。現在は工事の準備を行っております。

最後に、参考資料 I を御覧ください。こちらは以前に情報提供した内容になるのですが、現在、一時停止中の大泉本線（南行）のシールドマシンの大ギヤ等の状況について、4 月 1 日に業者が公表した資料になります。記載の内容について順々に御説明させていただきます。

まず、令和 8 年 1 月 20 日にシールドマシンのカッター部を回転させる大ギヤ付近から異音が発生しました。翌、令和 8 年 1 月 21 日に点検窓から大ギヤを確認したところ、大ギヤの一部に変状が確認されたので、掘進を一時停止し、詳細点検を実施しました。詳細点検の内容といたしましては、ファイバースコープなどにより大ギヤ付近を確認した結果、大ギヤに 23 か所、ベアリングの 7 割程度の範囲に変状が確認されました。なお、ベアリングとは、大ギヤが回転する際の摩擦を低減し、回転を滑らかにする装置になります。

今後は、開口部増設し、詳細点検を実施し、当該変状の原因の推定を進めるとともに、開口部を用いた補修計画の検討をしていきます。

なお、掘進停止中においても、チャンバー内の圧力をリアルタイムで管理し、また、地表面変位についても継続して計測を行っており、いずれも異常がないことを確認しております。

説明は以上になります。

○委員長（加藤こうじさん） 市側の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

○委員（栗原けんじさん） よろしくお願いたします。初めに、大泉から掘進がされていた本線シールドマシントンネル工事での大ギヤの損傷の件なんですけれども、この資料では、まだ対策など、詳細は明確になっていないかと思うんですが、1 月に異音が出て、停止になる過程が報告されています。この異音が出る前に、大ギヤの部分に損傷があったということなんですけれども、どのようにこの予防対策というのが求められていたか。

ほかの同様のシールドマシン掘削工事は、三鷹でも、中央ジャンクションからランプシールドトンネルで行われている技術だと思います。一般質問でしましたけども、安全確認について、今三鷹市で行われているシールドマシンとの関連性、同様の技術で行われているとすれば、同じような損傷が可能性としては避けられないと、地域の方からも不安の声が寄せられています。

[速報版]

シールドマシンに対しての安全対策というのを、現在、三鷹市で行われているものについて、今回の大ギヤの停止、損傷の教訓をどういうふうに生かすことができるのか、市側から事業者にどのように働きかけしたのかを確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 対策についてと、他のマシンの2点、答弁させていただきます。

対策についてなんですが、まだ調査が全てし切れていないという現状でございまして、引き続き、まだし切れていない調査を継続して、調査結果に基づいて原因を推定するとともに、今後、対策を考えていくと聞いております。

ほかのシールドマシンについてなんですが、こちらに関しては、今回の大泉本線（南行）のシールドマシンに異音が発生したことに、よりほかのシールドマシンに関して点検窓から、大ギヤを含めたモーター部に関して点検し、それとともに、まずほかの動いているのが異音が発生していないこと、あとモニタリングも正常であることを確認して、再発防止対策が機能していることを有識者に確認したと聞いております。

それを事業者に聞きまして、市としては、引き続き安全な施工を求めていくということとしております。

説明は以上です。

○委員（栗原けんじさん） 今回、1月に異音が出て、大ギヤを止めて、詳細調査に入ったと思うんです。その調査の中で、欠けだとか、傷があるということが分かったんですが、音が出るまで、異常を察知するというデータを取る対策、機器のモニタリングというのは、現状できていないんでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 今回の大泉本線（南行）の大ギヤの変状に関しては、異音が発生するまでの施工データに関しては不具合はなかったと聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 異音が出るまで分からないという状況であるとする、異音が出る前に何らかの欠けだとか損傷が発生している。その損傷が発生することを察知するデータを取る対策というのが求められていると思います。現状、シールドマシンにあるチャンバー内での圧力だとか、そういうデータは取っていて、正常どおりであったという中身で報告されています。

だとすれば、その対策は、実際機械が損傷することを探知するようなデータを取る装置、調査検証するモニタリングの手だてが必要だと思うんですけども、その点は市として、対策として、今ある三鷹のランプシールドトンネルにおいても、同様の考え方で異音が出る前の探知する装置というのは、シールドマシン、三鷹においてはついていないのか。今回の事故で起こしたシールドマシンにおいても、そういう装置がついていないということで確認できますか。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起） 今回の事象につきましては、大ギヤ自体が密閉状態のところにあるということで、モニタリングをしていたけども、異音までは分からなかったということが原因で聞いております。

ただ、今現在その原因を調査中で、モニタリングによって、どの部分がその前兆としてあったのか、そういったことも含めて調査をしているというふうに聞いております。三鷹市としては、今後、ほかのマシンにつきましても同じような事象が起きることは非常に懸念をしております、強く申入れはしております。

[速報版]

ただ、その確認の仕方につきましては、今注視をしているところで、調査結果が出次第、これまでの再発防止対策に加えて、事前の機器、マシンに対する再発防止対策等の確認ができないのかどうか、その結果を踏まえて強く申入れはしていきたいというふうに考えております。

○委員（栗原けんじさん） 異音が出ての対応だったということで、全庁を捉える対策が求められているというふうに思います。私も、その認識ですので、事業者には今度の損傷事故の教訓を生かして、事前にその前兆をつかむ対策を取るように、市からも申し入れていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

もう一つ、三鷹のランプトンネルの工事の現状ですけれども、現状、中原一丁目にBが達していて、調布のところにFランプのシールドマシンが到達。今現状、1日当たり、どのぐらいのペースで進んでいるのか、いつ頃、この地中拡幅部までの掘削区間だと思いましたが、到達する予定で進んでいるのか、進捗状況を教えていただきたい。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず、Fランプもそうなんですけど、Bランプに関しては、大体1日約二、三メートルぐらい掘進しているような状態でございます。二、三メートルでございます。

いつ頃完了かというお話なんですけど、事業者にもなかなか分かりませんというふうなお答えをもらうのですが、今のペースで、あくまでこちら側の想定なんですけど、Bランプシールドマシンに関しては大体秋頃ぐらいかなと。Fランプシールドマシンに関しては、ちょっと範囲は広いんですが、今年の冬ぐらいには地中拡幅部に到達するのではないかとというふうに考えられます。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 調布では陥没事故を起こした結果、地盤改良においては住民が立ち退いて、今地盤工事でも、幹線住宅街では重機が立ち並ぶ状況にあります。一たび事故を起こせば、市民生活に大きな影響を与えますし、人生設計も変わってしまうような大事故になります。事故を起こさないための対策を、市としても十分事業者に求めていく必要があると認識しています。

その上で、現状、住宅地の下に三鷹市は入って、Bランプは新川を超しているんですけども、調査の状況、モニタリング、地盤の変化や、振動や騒音の調査をされていると思いますが、そのような調査の現状を教えていただきたいと思います。どのぐらいの頻度で、時間は何時から何時までなのか、実際に掘進工事が行われている時間と合わせた調査となっているのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず観測に関しては大きく2種類あります。1種類目は、毎日シールドマシンの直上で振動、騒音を測っております。それは実際、現地に掲示されているものでありまして、それは日々観測しているものであります。観測時間に関しては、今、日々変わることはあるんですけど、シールドマシンの工事期間、およそ9時から17時頃でございまして、それに合わせて振動・騒音計を速報値ということで測っております。それが1種類目です。

2種類目に関しては、今度、距離を100メートルごとに3点測っております。3点というのは、シールドマシン直上と、あと影響範囲のそれぞれ端部、それで全部足して3か所、振動、騒音を100メートルごとに計測しております。なお、低周波に関しては、シールドマシン直上で1か所計測している状態になります。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 調査をシールドマシンの直上でやっているという報告ですが、このシー

[速報版]

ルドマシンは道路の上を通っているわけではない。都心の地下鉄のように、都道だとか、公共の施設ではない民間地を通っています。直上というのは場所が限られる。道路を交差する、または重なる部分が可能で、住宅地など、個人宅の敷地内というときには、どのような形でやられているんですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） すみません、訂正いたします。シールドマシン直上付近の公共用地になります。民地では測定できないので、公共用地で計測しております。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 直上付近の公道ということによろしいですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 公道という縛りではなくて、あくまで公共用地で、測れるところで測っていると聞いております。

○委員（栗原けんじさん） その公共用地って何か所あるんですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 何か所という、シールドマシンの進捗に乗って、その直上付近での公共用地で測っているので、何か所というよりは、一緒に動いていくようなイメージで進んでおります。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） それは公共用地というのは、公道という意味ですか。それとも、公道も含むということですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 道路を含む公共用地の範囲でございます。

○委員（栗原けんじさん） 実際、仙川に通じるバス通りのところで、計測員が座っていたのを市民からも問合せがあって、どのような調査をしているのかということを聞かれました。問合せがあったので、正確に市民にどのような調査をしているのかというのが分かる必要があると思うんですけども。

市民が、この調査について、座っている方、調査をされている方、また、現場にいる方に対して、工事の中身については説明できるような状況になっているんでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） そこに座っている方はガードマンになるんですけど、実際、深い話までは難しいのかもしれませんが、今日このような工事をしているよという概略は説明できました。

説明は以上です。

○委員（栗原けんじさん） オープンハウスなどでは、どういう調査、モニタリングしているのかというのは知らされているわけですけど、現場で、オープンハウスに参加していない方でも、気になって問い合わせることがあると思います。現場では、詳しい話がなかなか聞けない、分からないという返事もあったりして、疑問、不安になってしまうという声を聞きました。

そこにいる方が説明できなくても、窓口だとか、どこに聞けば現状が分かるのか、工事の中身だとか、モニタリングの中身だとか、その結果だとかというお知らせするということは可能だと思います。ぜひ市民に対しての丁寧な、現状が理解できるような対応をしていただきたいと思いますんですけども、事業者に対して対応を求めたいと思いますが、市としてはどのように対応しているんでしょうか。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局長（池田啓起） 見えないところで掘進している状況を、直上の住民の方がかが不安に思っている状況はよく分かります。市としましても、事業者に対して、先ほど路上で観測をしている作業員、またガードマンさんに詳しい状況を聞いても、なかなか答えられないし、責任もある

[速報版]

ので、それ以上のことは答えられないと思います。

事業者として、まず市民からの問合せ先がしっかり分かるように——オープンハウス等ではきっちり周知はしていますが、それ以上に、掘進前にはチラシを入れて、掘進のお知らせをしたりしておりますので、問合せについては、しっかり丁寧な対応をしてもらうように、市からも事業者のほうには、引き続き申入れしたいと考えております。

○委員（栗原けんじさん） 実際にシールドマシンの現在地というのが日々更新されていて、情報は一定程度、提供されているのを存じています。そこにアクセスする、お知らせを担当者、現場にいる方が直接話とかはできなくても、渡したりすることができれば、市民はそのことを知ることができしますので、そういう対応を口頭で答えるというのではなくて、オープンハウスの場所だとか、ホームページにアクセスするQRコードがついている資料ですとか、そういうものを渡せるような状況説明に対応をするよう、市として求めているだと思いますが、いかがでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 市のほうとしては、地域のほうには丁寧な対応を求めてまいります。

○委員（栗原けんじさん） よろしくをお願いします。あと、現状、今、調布の地域をBランプシールドマシンが移動していると思いますが、今回の工事の影響で、家屋から離れて、ホテル住まいをしたり、対応されているような方というのが、このBとFのランプシールドトンネル工事の市街地地域に入ったところでの現状を把握しているのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） Bランプシールドマシンにおいて、振動が気になる方がいて、仮の避難場所というのを提供された方がいるとは、事業者から聞いております。

○委員（栗原けんじさん） そういう実態があるということで、知っている方は対応して、ホテル住まい、一時的に工事が直上だったり、その周辺に来ているときに避難するという対応ができます。この間、オープンハウスなどでも計画地にかかっている人は、それなりに問合せしていると思うんですけども、まだまだ知らない人がいます。

振動や騒音がランプシールドトンネル工事に由来しているかどうかというのは、なかなか判断できませんので、体調不良になったり、感じたりしたときに、相談できる、また対応されるということが十分に周知されていないと、住民の方で対応できないと思うんです。この工事の影響に対する対策の周知については、事業者はどのように行っているのか。お願いしたいと思います。

○都市再生部長・調整担当部長・三鷹駅前地区まちづくり推進本部事務局長・国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局理事（池田啓起） 以前から、この振動、騒音、低周波の対策につきまして、まず周知につきましては、市からも申入れをしまして、事業者においては、先ほど申し上げたように、事前のチラシで影響範囲の方々にお知らせをしている状況と聞いております。まさに今現状、B・Fランプについては、これまで19件の問合せ、相談が事業者に入っているというふうに聞いております。その内容については、このシールドマシンに起因する振動というふうに事業者も認めているものもございます。

その際には、個別に話を聞いた上で、進度の速度を落とすであるとか、滑剤を増やしたりとか、その都度対応して、丁寧に説明をしていただいているとは聞いております。

ただ、体調については、特に低周波音については病院とかで診断されるものではないので、非常にこの体調を不安に思われている方はいらっしゃるということです。事業者に、そういったことを住民の方

[速報版]

にもよくお話を聞いて、市からは、丁寧な対応を取るように、ここは強く、引き続き申入れをしている最中であります。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 実際に住んでいる方々の感覚は、事前に、異変が起こっている場合においては重要な情報というか、資料と言うとあれですが、重要な対応を求められるものだと思います。なので、振動や騒音があって、関連性があると認められた場合には、事業者も対応しているというお話ですので、広く住民の方々に知らせていく必要があると思います。

対応ですけれども、私のところでも、ちょっと離れた場所なんですけど、振動があって、夜、眠れないと。事業者にも問合せをしたというふうに伺いました。ちょっと離れている場所なんですけども、これ、お知らせをしている範囲というのは、どのぐらいのところまでお知らせしていますか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 振動、騒音の影響範囲に関しては、ランプシールドから両サイド40メートルのところが影響範囲になって、その方に対してお知らせをしております。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 私、因果関係はどうなのかってありますけど、影響は40メートル以外では出ないということでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） でも、40メートルよりも離れた方からお問合せがあったことに対しても、適切に対応していると事業者から聞いております。

○委員（栗原けんじさん） 実際に陥没事故の範囲がどのぐらいまでなのかというのも、地盤によっても影響範囲が違くと。45度の区画で範囲が設定されていると思うんですが、それを越えたところでも影響が出る可能性は、今まで大深度地下トンネル工事では影響が出た事例もありますので、広く市民に知らせていく必要があるというふうに思います。

以前、オープンハウスの市民との意見交換の場で、中原四丁目の方が来ていらっしゃいました。その方が来たのは、三鷹市の広報を見て来ていて、事業者にも、自分は広報で見たけれども、事業者からの情報は、自分は見つけられなかったと。自分の周りにもそういう方がいらっしゃるんじゃないかということで、広く広報をしてほしいというお話がありました。

三鷹市としても、広報でも引き続きしていただきたいと思うんですが、事業者も広く市の40メートルという範囲を超えた部分においても、する必要があると考えますが、事業者にどのように対応を求められるのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず、事業の周知のほうなんですけど、こちらに関しても、引き続き振動、騒音の影響は40メートル以内かかわらず、広く周知するよう求めてまいります。また、市としてもオープンハウスとか、今現状、開催を「広報みたか」に載せておるんですけど、引き続き市の広報には開催を載せていく予定です。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 事業者に広く、40メートルという範囲を超えた三鷹市全域、また、調布や世田谷にも隣接する地域でもありますので、広く情報を共有、対応がどのようにされているのか。個人だけでなく、地域全体でどのような対応をされているのかを共有できるように、情報提供を求めたいと思います。よろしくお願いします。

[速報版]

最後に、北野の暫定広場の点で、今現状、利用者とか、整備状況はどのような状況になっているのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） まず、大きく利用状況なんですけど、昨年11月上旬にオープンいたしまして、5月下旬までなんですけれども、約3,000名ぐらいの利用者がありまして、1日約20名から25名の利用があるような状態です。

中身といたしましては、平日の午前中なんかは保育園児の方が遊びに来て、午後は小学生の子が多い状態です。週末は親子連れが多い状態になっております。

状況といたしましては、3月の段階で御説明したときは、まだ土で何も育っていなかったんですけど、今土の部分にクローバーを植えまして、クローバーが育っている状態。あとは、畑の設置があった、そこで今、野菜を栽培しているような状態でございます。

説明は以上になります。

○委員（栗原けんじさん） これから猛暑が想定されるので、北野情報コーナーなどはクールスポットで使えるかと思うんですけども、熱中症対策などについては、注意喚起だとかはされないのか、確認したいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） これから暑さが日に日に強くなっていくことは、市としても認識しており、暫定開放広場につきましても、水飲みを設置していますが、その近辺といいますか、水飲み場の上空に日よけのシェードを管理人さんに毎日出していただいて、広い範囲でシェードをベンチの上に設置をしている状況です。

路面に関しても、クローバーが出てきて、温度上昇も抑えるような効果もあると聞いております。引き続き、そういった状況を見ながら、必要に応じて、またさらに猛暑対策とか、そういった熱中症対策ができる範囲で、市のほうは取組を進めたいというふうに考えております。

以上です。

○委員（栗原けんじさん） 日陰のない広場ですので、日よけ対策は重要かと思います。

また、適切な呼びかけも、北野情報コーナーの方はいらっしゃると思うので、水分の補給だとか、ちょっと休むだとか、そういうのはぜひ気をつけてアナウンスしていただきたいと思います。

よろしくお願いします。終わります。

○委員（佐々木かずよさん） 1点、今、北野暫定広場が出たので伺いたいんですが、日よけでシェードを出していただいているということなんですけれども、監視されている方への熱中症対策はどのようにされているか、伺ってよろしいですか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） 午後に、暑い日になると、見回りの方についてもらっているんですけど、一応その方に関しては設置した日よけの下にいてもらうことが多くて。そこって、当然利用者も使うところなので、今そこに見回りの方もいてもらっちゃっているんですけど、見回りの方の暑熱対策も考えなきゃいけないということで、今検討しているような状態でございます。

以上です。

○委員（佐々木かずよさん） じっと見守っているという方も非常にづらい場所ではないかなと思いますので、暑くなる前によりしくお願いいたします。

○委員（成田ちひろさん） 北野暫定広場の開放のところで、遊び方については、どのような遊ばれ方をしているのかというのを伺っておきたいと思います。当初、オープンした当時と今では違うのかに

[速報版]

についても、もしあれば教えていただきたいと思います。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） オープンのときと大きな違いはないんですけど、多いのがキャッチボール、小さい子は本当に走り回っているような感じで、最近だと、サッカーをやっている子が増えてきたり、あと、スケートボードは大きな方が少しやるような状態と、あとダンスをやっている子もいたりします。

状況は以上です。

○委員（成田ちひろさん） 何かルールとかが変わったとか、そういうことはないんでしょうか。

○外環・北野の里（仮称）担当課長（稲垣裕久さん） オープンしてからルールの変更はございません。

○委員長（加藤こうじさん） 以上で、行政報告を終了いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 休憩いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 委員会を再開いたします。

○委員長（加藤こうじさん） 議会閉会中継続審査申出について、本件を議題といたします。

東京外郭環状道路建設問題について調査検討し、対策を講ずること。本件については、引き続き調査を行っていくということで、議会閉会中の継続審査を申し出ることにはいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

○委員長（加藤こうじさん） 次回委員会の日程について、本件を議題といたします。

次回委員会の日程については、次回定例会会期中とし、その間必要があれば正副委員長に御一任いただくことにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

○委員長（加藤こうじさん） その他、何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、特にないようですので、本日はこれをもって散会いたします。お疲れさまです。